

伸ばせ伸びしろ！～魅力度最下位脱出術～

SGH 2年5班 藁谷 新田 土田 小山

研究目的

茨城県 魅力度ランキング3年連続最下位
↓
茨城県の魅力度を何とかして上げたい！！

調査方法

インターネット、市役所・笠間焼陶工房訪問
海外フィールドワークでの街頭インタビュー

茨城県のPRプラン
茨城県の調査を行った

伝統文化に着目

カルチャーセンター

分散した伝統文化を一か所に集める
↓
PR効率アップ

アクセスの良い地域に立地・・・守谷
→都心などからの集客アップ

他県との比較

- 観光名所の少なさ
- 魅力の分散&アクセスの悪さ

街頭インタビュー

- 日本に来たことのある人が少ない
- 観光情報の入手方法→インターネットが多い

笠間市役所商工観光課訪問

- 伝統工芸品のPR
- 広報誌はインターネットよりもコストが高い

桧佐陶工房訪問

- アンテナショップの失敗例
- 文化の担い手としての意見

改善点

茨城県自体の魅力度を増やす ※カルチャーセンターだけでは知名度は上がらない

↓
新たな茨城県の観光地を作ることも必要

伝統文化+α
伝統文化に何かを加えることで付加価値アップ

海外向けHPの作成
海外の方へ向けてHPを作成し海外の人も呼び込む

ターゲット層
家族連れor高齢者だけでなく、海外の人、若者、家族連れ+高齢者

↓
より広い範囲のターゲット層で集客UPを狙う

もともとある建物を利用して、期間を限定してイベント方式で行う

↓
建設費・維持管理費を削減！一度に大量の集客が望める(リピーターの確保も可能?)

まとめ・提言

茨城県の伝統文化を一か所に集めさらに+αで付加価値を加えることによって魅力を相乗効果でアップさせることができる。さらにイベントを開催することで多くの集客がみこめ、茨城の有名な特産品や隠れた名所や魅力を他県にPRすることができる。以上より、カルチャーセンターは魅力度最下位の茨城の救世主となることを、ここに提言する

謝辞

笠間市役所商工観光課の皆様 桧佐陶工房の皆様